

ノートルダム学院小学校には、兄、僕、弟と、三兄弟揃って世話になりました。僕が入学したのが1974年。上京区の自宅から、市バスと、当時はまだ残っていた市電を使って通っていたことを思い出します。この通学だけでも、小学生にとってちょっとした冒険でした。帰りは寄り道をするわけでもなく、野々神町の停留所から、ひと駅ふた駅歩いてみるだけでもワクワクしたものです。あの頃は今よりもずっと田舎で何もなかったけど、小学生にとって十分に刺激に満ちた場所でした。よく周辺の田んぼでカエルをつかまえて持ち帰り、自宅の庭に放したりもしましたね。そのまま居着いて、うちで冬眠していましたよ(笑)。

そう、小学校時代の思い出は常に、鮮やかな京都の自然とともにあります。まさに「比叡の緑窓に映え」と校歌にあるとおり、四季折々に姿を変える比叡山を望み、松ヶ崎の豊かな緑に囲まれた素晴らしい環境でした。学校行事も、賀茂川沿いを歩く鍛錬歩きや宝ヶ池を周回するマラソン大会など、自然のふところ

Discover!

好奇心を豊かに満たした日々



[自画像(1年在学時)]

での体験が懐かしくよみがえります。よく遊び、よく学んだ、健やかな学校生活でした。

クラスは2年ごとの持ち上がりで、印象深いのは5年、6年ですね。特に5年生の時、担任してくださいました遠藤先生のことは忘れられません。通信簿にはいつもしっかりと厳しいお言葉を頂戴していて、これまで何度かテレビで紹介させていただいた通信簿は、まさにその時のものです。たいへん熱心で立派な先生でした。

なかでも強く記憶に残っているのは学習発表会。僕たちのクラスは遠藤先生の指導のもと、教科書に載っていた楽曲「野ばら」を題材に、演劇、音楽、スライドを合わせた舞台をやったんです。児童一人ひとりの特技や個性が発揮できる役割をてきばきと振って、総合エンターテイメントに仕上げていかれる先生を見て、尊敬を新たにすることを覚えています。僕はその時はたしか裏方をやりました。みんなで懸命に練習もして、見応えのある舞台に仕上がりました。クラスがぐっとまとまりました。

ところがその遠藤先生が、僕たちが6年生の時に亡くなられたんです。それはショックで辛い出来事でした。しかし僕たちには、1年生の時から身にしみて育まれてきた、信仰心がありました。深い悲しみのなかでも祈りの時間を持つことで先生の存在を感じ、「ずっと僕らのことを見てくれてはる」という確信のもとで自らの行動を律することができたのです。宗教教育によって培われたこうした倫理観が自然に共有できたこともまた、クラスの絆を強めました。

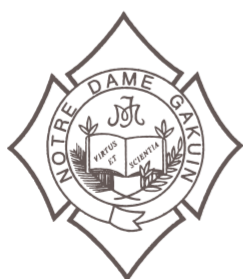
健やかで自由でありつつ、信仰というベースの上に一定の規律があった小学校での6年間。勉強の間もたくさんあったけど、今思えば子どもの好奇心に応えながらまっすぐに導いてくれる理想的な環境だったと思います。そんななかで現在も親交が続く多くの友人に恵まれ、心豊かに過ごせたことが、僕の人生の原点です。当時は気づいていなかったけれど、振り返ってあらためて、それがいかにかけがえのない日々だったかを発見するのです。



佐々木蔵之介氏

(左から右へ)俳優。1968年京都生まれ。実家は、洛中唯一の酒蔵・佐々木酒造。80年ノートルダム学院小学校卒業。90年、神戸大学在学中に劇団「惑星ビスタチオ」の旗揚げに参加し、98年の退団まで看板俳優として全作品に出演。退団後は舞台、テレビ、映画、CMと多方面で活躍中。東日本大震災復興を願い、市川龜治郎・佐藤隆太と共に「今、僕らが出来ること」朗読劇「家守綺譚」(森ノ宮ピロティホール)を9月2日(金)・3日(土)に上演する。

<http://www.parco-play.com/web/page/information/zenokikaku/>



よく祈り、よく学び、持っている力をよく伸ばし、それを使って、人に奉仕しよう

ノートルダム学院小学校

〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町 1-2 TEL 075-701-7171 FAX 075-712-6170



ノートルダム女学院 中学校・高等学校



京都ノートルダム女子大学



[絵・6年 辻川 桜]

一人ひとりの個性を認め、可能性をひらく教育

ノートルダム学院小学校では、学校行事や体験学習、検定やスポーツなどで挑戦の機会を多彩に設けています。また、考える習慣をつけ基礎学力を高める独自のカリキュラムを実践しています。子ども一人ひとりの能力を尊重して、得意分野を伸ばし、それぞれに活躍の場を与えることで、各自が持っている力をさらに開花させるのが目的です。幅広く豊かな体験は、お互いの個性を認めあうことにもつながります。

世界的視野を持った国際人を育てる

教会の暦に合わせて様々な宗教行事が年間カリキュラムの中に散りばめられ、「祈り」を通して命のつながりの大切さを知る宗教教育、伝統を誇る英語教育ほか、特色ある学びの中で、世界的な視野がごく自然に培われていきます。同時に、世界の中の日本を素直な目で捉え、母国の特徴、よさを知り身につけることもまた、国際人に求められる素養と考えています。



「学校説明会」

入学選考日までの公開行事予定
平成23年9月10日(土)

本校に入学を希望されている方を対象に、「学校説明会」を開きます。当日は、入学考査に関する説明を中心にお話させていただきますので、是非ご参加ください。

※詳細は、本校ホームページをご覧ください。